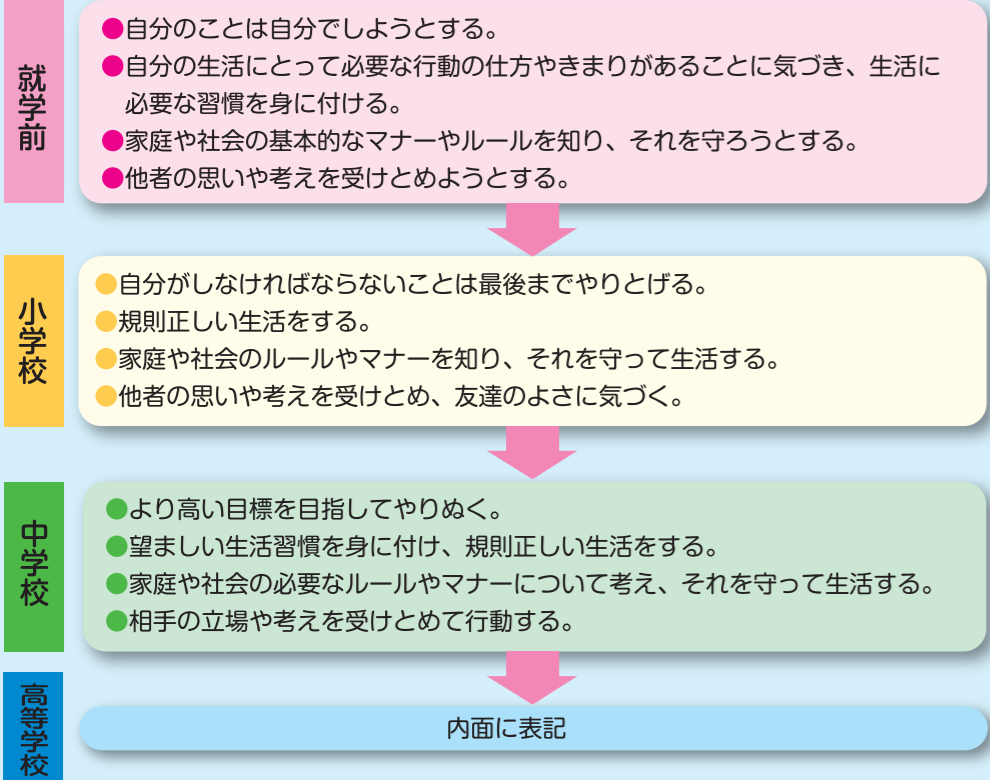


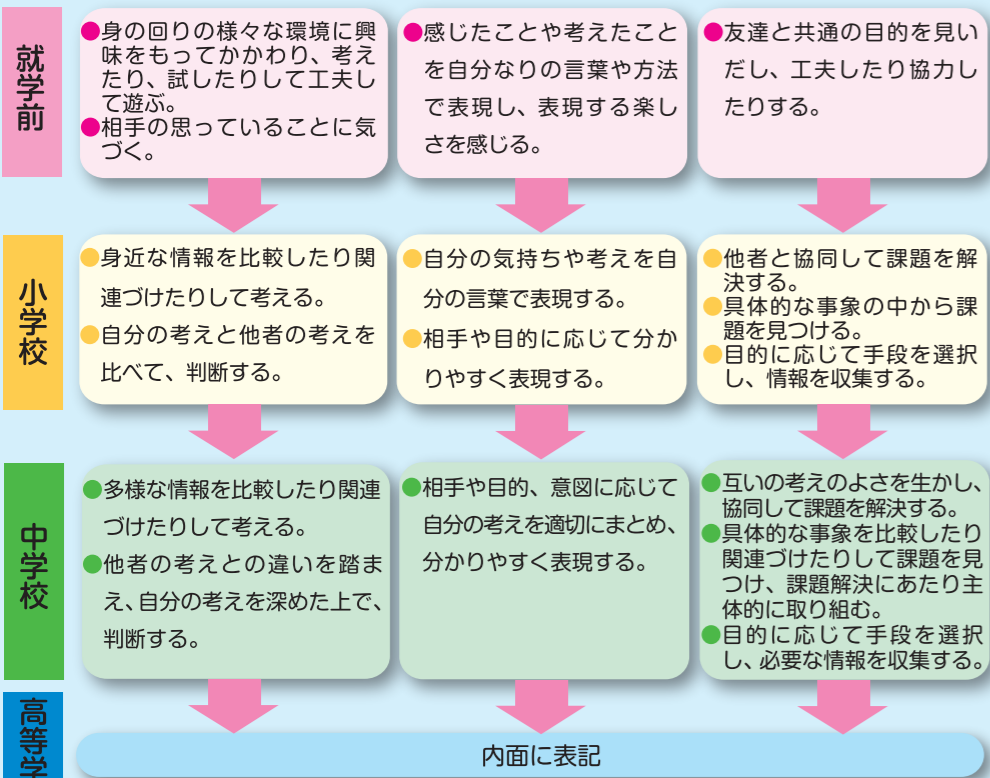
# 「おちついた生活」

## 学びの基礎力（自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力）



# 「かんがえ、伝える力」

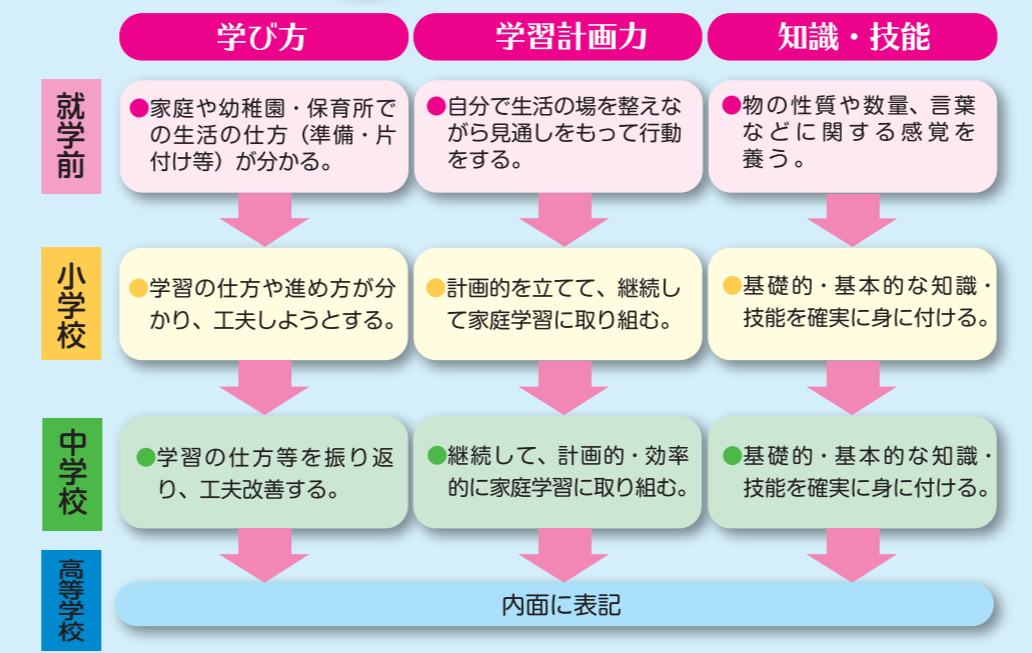
## 思考力・判断力 表現力 問題解決力



# 「やる気」



# 「まなびの定着」



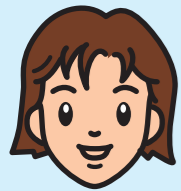
次代を担う「おかやまっ子」の確かな学力を育てるために、各発達段階において求められる力とその力を育成するための取組例を、

- 「おちついた生活」
- 「かんがえ、伝える力」
- 「やる気」
- 「まなびの定着」

の4つの視点からまとめました。このリーフレットを、各学校の生徒の実態や取組状況の確認、保護者会や地域の会での話し合いの資料等に積極的に活用して、学校と家庭・地域が連携した学力向上の取組が一層推進されることを願っています。



## 育てるために



次のようなことがしっかり取り組んでいるといいですね。各校でチェックしてみましょう。

### 高等学校で

- 校内で学び方や学習規律について共通理解し、指導する。
- ルールを守ることの意義や合理性を理解し、必要なルールを立案することができるようにする。
- 個性や立場を尊重し、集団のために自主的、実践的に行動できるようにする。

- 探究的な活動や課題解決を図る学習を通して、自ら構想を立て実践し、その結果を整理・考察し、まとめ、表現し、協議する場を設定する。
- 自分の考えの根拠を明らかにして説明したり、様々な立場からの意見を分類整理して、議論したりする場を設定する。
- 目的にあった思考の道筋を考えさせ、表現のための語彙を活用する場を設定する。
- 分かりやすい指導（教材提示装置やプロジェクタなど ICT を取り入れた授業づくり）に努める。
- 学ぶ環境づくり（図書・ICT 機器・言語環境等）に努める。

- 達成感や成就感を大切に授業づくりに努める。
- 興味・関心が高まる授業の導入や社会に関連のある課題づくりに努める。
- 地域や社会と積極的にかかわる機会（インターンシップ等）を充実する。
- 地域の協力による体験活動や社会貢献活動等の充実を図り、地域社会にかかわる機会を設定する。
- 社会に自分の適性をどのように生かすかを考える機会を設定する。
- 生徒が相互に評価し合うとともに、自分の学習の成果を振り返る場を設定する。

- 生徒の実態等を把握し、習熟度別指導や個に応じたきめ細かな指導を充実する。（授業の目標を示し、見通しをもたせる。学習を振り返る場を設定する。）
- 放課後や長期休業等を活用して補充学習等を行う。
- 学習計画を立て、必要に応じて見直しや修正を加え、主体的・自主的な学習を進める自覚を促す。

## 高等学校卒業までに育てたい力

### 「おちついた生活」

学びの基礎力（自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力）

- より高い目標を目指して、着実にやりぬく。
- よりよい生活習慣を確立し、規則正しい生活を続ける。
- ルールについて考え、必要に応じてルールを見直ししながら、よりよい集団生活を目指す。
- 様々な立場の人の思いや考えを踏まえて、自分自身の意志や判断で行動する。

### 「かんがえ、伝える力」

思考力・判断力

- 多様な情報を比較したり関連づけたりして、体系的に整理しながら論理的に考える。
- 学んだことをもとに自分の考えをもち、様々な立場からの意見を踏まえて適切に判断する。

表現力

- 目的や意図、場面に応じて、相手の立場も理解した上で、自分の考えを適切にまとめ、分かりやすく説明する。

問題解決力

- 互いの考えのよさや特性を生かして、協同して多様な視点から課題を解決する。
- 自分にとって価値のある適切な課題を設定し、必要な情報を収集し、それらを活用して計画的に課題を解決する。

### 「やる気」

知的好奇心（学ぶ楽しさ）

- 苦しさを乗り越えて、真理を追究する楽しさを知る。
- よりよく生きるために、課題を見だし追究する。

主体性

- 学習したことを他の教科の学習や生活上の様々な課題の解決に活用しようとする。
- 学習の成果や自己の伸びを自覚し、自己の適性を伸ばそうとする。
- 目標を設定し、自主的に学習し、適宜学習方法等の見直しを図る。

自己実現力・社会的実践力

- 自己の意志と責任で、主体的に進路を選択しようとする。
- 地域や社会に積極的にかかわり、貢献する。

自己存在感・自己有用感

- 自ら進んで物事をやりとげ、達成感や成就感をもつ。
- 他者に自分の考えを自信をもって示すことができ、周りの人から認められていると感じる。

### 「まなびの定着」

学び方

- 目標達成に向け、学習の仕方等を吟味・修正する。

学習計画力

- 自分の人生設計に合わせて、課題を設定し、計画的・効率的に家庭学習に取り組む。

知識・技能

- 基礎的・基本的な知識・技能の上に、専門的な知識・技能を身に付ける。

## 育てるために



次のようなことに取り組めるよう、保護者や地域の方と話し合ってみましょう。

### 家庭・地域とともに

〈家庭〉

- 子どもの思いを共有するために、話し合いの場をつくる。
- 自分の行動に責任をもって自律的な生活ができるよう、将来の生活に結びつけて振り返らせる場をつくる。
- 生活リズムを整え、優先順位をつけて行動できるよう、声かけをする。

〈地域〉

- あいさつなどの声かけ等を通して、子どもを見守る。

〈家庭〉

- 大人の思いや考えを伝えたり、子どもの考えを受けとめたりする中で、価値観や個性を理解し、様々な考えのよさを受容する。
- 自分で考えた取り組むべき学習や活動が実行できるように支援をする。
- 子どもを信じて見守り、失敗から学ぶことを大切にして、結果だけにとらわれず、がんばったプロセスを認めるようにする。

〈地域〉

- 地域の行事等で、子どもの意見や提案を聞くようにする。

〈家庭〉

- 子どもと将来の目標や設計について語り合う。

〈地域〉

- 子どもが社会で働く喜びや厳しさを体験できるよう、インターンシップやボランティア活動等、子どもを受け入れる場を設定する。
- 地域の歴史や文化、自然に関心をもち、地域に貢献できる場を設定する。

〈家庭〉

- 子どもが、将来設計について考えて、計画や見通しをもち、今すべきことが実行できるように支援をする。
- 学校の学習活動等を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。

〈地域〉

- 地域の中に、子どもの学びの成果等を表現できる場を設定する。
- 学校の学習活動等を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。